



リーフレット制作活動を通じて
「ユネスコ世界寺子屋運動」を応援しよう！

寺子屋リーフレット制作プロジェクト 2019年度 〔ガイドライン〕



主催：公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

**共催：一般社団法人デジタル表現研究会 (D-project)
株式会社教育新聞社**

寺子屋リーフレット制作プロジェクトとは・・・

「ユネスコ世界寺子屋運動」を学習の題材に、子どもたちが非識字という世界の課題や、その背景にある社会的・文化的多様性を知るとともに、課題解決の方法について考え、身近な地域で行動を起こすというつながりを重視した、ESD学習活動です。



★プロジェクトのホームページ : <http://www.unesco.or.jp/support/pj/>

ユネスコ世界寺子屋運動とは・・・

世界には、内戦や貧困などの理由で学校に行くことができない**6～14歳**の子どもたちが**約1億2400万人**もいるといわれています。学校へ行けないまま大きくなり、文字の読み書きができない大人も**約7億5,000万人**います。

(UNESCO2017/8年版「グローバル・エデュケーションモニタリングレポート」より)
ユネスコ世界寺子屋運動は、このように教育を受けられない人々に、「寺子屋＝学びの場」を無償で支援する日本の市民運動です。

★ユネスコ世界寺子屋運動のホームページ : <http://www.unesco.or.jp/terakoya/>

プロジェクトの目的

子どもたちが、世界が直面する課題に学び、取り組む経験(＝リーフレット作りと書きそんじハガキ回収)を通して、人権や国際理解への意識を深め、将来の自らの生き方をどう描くか考えることで、全人格的な成長を目指します。

対象

小学校・中学校・高校(学校・学年・学級・クラブ活動・生徒会など。)



必要授業時間数

年間5～10時間程(目安)

- 「ユネスコ世界寺子屋運動」の調べ学習:2～3時間程度
- リーフレット制作学習:3～5時間程度(修正学習を含む)
- 書きそんじハガキ回収などの支援活動:0～2時間程度(可能な範囲で)

学習のねらい

- ・「調べる」→「考える」→「表現 / 創る」→「発信する」→「まとめる」→「行動する」といった複合的な“学びのプロセス”の中で、子供たちが豊かな学力を身につけます。
- ・児童・生徒は、校内・校外、異年齢、地域社会との“学び合い”から、相手の立場に立って考える力や、思いやりの心を持ち、人と人、また社会とのつながりを実感します。

身につける力

- ・調べ学習(UNESCO、日本ユネスコ協会連盟、貧困問題、識字問題など)
→思考力、判断力、読解力、情報活用能力
- ・リーフレット制作と相互評価
→考えをまとめる力、表現力、デジタルデザイン力、プレゼンテーション力
- ・書きそんじハガキ回収活動、募金活動
→コミュニケーション力、協働力、行動力、社会に働きかける力



6月～	参加校募集	
6月30日	参加申込受付締め切り 参加が決まった学校は、プロジェクト専用のメーリングリストに登録します。	
7月～ 調べる 考える	調べ学習開始（日ユ協連からの資料送付・貸出資料受付開始） 「ユネスコ世界寺子屋運動」について調べます。ウェブサイトや参加校に提供される映像や資料などを通して、学校に通えない子どもや文字の読み書きができない人びとが世界にはたくさんいることなどを学びます。そして、なぜそのような状況が生まれるのか、世界が抱える問題を探ります。	
9月～10月 表現する	リーフレットづくり <必須> 調べ学習や、地域ユネスコ協会などの出前授業を踏まえて児童生徒が自分たちに何ができるかを考え、一つの方法として書きそんじハガキの提供を呼びかける「リーフレット作り」を実践します。リーフレットは、手書きでラフスケッチを描いてリーフレットのデザインを練った後、パソコンで仕上げます。	
11月～12月 まとめる	リーフレットのブラッシュアップ グループやクラスの中で、他の人から意見をもらったり、お互いに評価し合いながら、一度作ったリーフレットをさらにブラッシュアップします。実際に社会で使われることを想定して、キャッチコピーや写真のレイアウト、色合いなどにも気をつけます。	
1月10日 発信する	リーフレット 代表作品提出 <必須> リーフレットが完成したら、校内で代表作品を2作品まで選び、リーフレットコンテストに出品します。（作品はデータで提出）。	
1月下旬～ 行動する	書きそんじハガキ集めの活動 <可能な限り実施をお願い致します> 自分たちで作ったリーフレットを実際に活用し、書きそんじハガキや募金を呼びかけます。社会に働きかける体験を通して行動力を身につけます。	
2月1日～29日	リーフレットコンテスト(インターネット上での一般投票) <必須> 各学校の代表作品を日本ユネスコ協会連盟のホームページに掲載し、参加校はもちろん一般の方にも投票をしてもらいます。コメントを記しての投票で、活動の振り返りになり、言語活動の充実につながります。	
3月上～中旬 社会に貢献	審査員による2次審査、受賞作品発表 インターネット投票結果の上位作品を対象に、審査員による2次審査を行い、受賞作品を決定します。 ハガキをユネスコ協会へ(感謝状の受け取り) 近隣にユネスコ協会がある場合、学校で集めた書きそんじハガキや募金をユネスコ協会に手渡し、ユネスコ協会から感謝状を受け取ります。	
1～3月(予定)	寺子屋協力者向けカンボジアスタディツアー(一般・教員向け) プロジェクト参加校教員等が、日本ユネスコ協会連盟現地事務所や寺子屋を訪問し、子どもたちや現場の関係者との交流を通して、世界寺子屋運動の意義や課題への理解を深めます。帰国後は、プロジェクトのメーリングリスト等を通して、今年度の参加校に共有していただきます。	
約1年後 世界とつながる	子どもたちの活動が形に! 書きそんじハガキや募金などを集めてくれた参加校に対しては、学校名を入れた銘板(他参加校との連名)を、新しく建設する カンボジア の寺子屋に設置します。	

■参加条件

1. コンピューターを利用して、「世界寺子屋運動」を支援するリーフレット制作が可能なこと。
(使用していただくソフトの指定は特にありません。)
2. 各校の代表リーフレット(2作品以内)を **製作者の実名とともに**2020年1月10日(金)までに提出できること。(Web等ではイニシャル表記を希望する場合も、代表作品の制作者には後日、感謝状を贈るため、実名と合わせてご提出ください。)
3. 参加について学校長の承認を得ること。
(参加校名、参加生徒名が Webサイトなどで公開されるため。**記載される参加生徒名にイニシャル等を用いる場合は、別途ご連絡下さい**)
4. 担当教員は、本プロジェクトのメーリングリストに登録し、Eメールでの連絡が可能なこと。
(本プロジェクトに関する諸連絡は、メーリングリストを通じて行います。)
5. D-Project「D-All」へのご登録、アンケート(授業の進め方などについて 年1-2回)へのご協力をお願いします。

■参加申込方法

日本ユネスコ協会連盟・寺子屋リーフレット制作プロジェクト係まで、以下の必要事項を明記の上、Eメールにてお申し込みください。

<必要事項>

1. 学校名
2. 学校住所
3. 学校TEL
4. 校長名
5. 担当教員名
6. 担当教員メールアドレス
7. 参加形態(学年、クラス、委員会、クラブ活動など)
8. 参加児童・生徒数

※メールの件名は「寺子屋リーフレットPJ参加申し込み」とご記入ください。

<申し込み先> 日本ユネスコ協会連盟・寺子屋リーフレット制作プロジェクト係
Eメール: terakoya-school@unesco.or.jp

<申込締切> 2019年6月30日(日)

■本プロジェクトに関するお問い合わせ先

日本ユネスコ協会連盟 寺子屋リーフレット制作プロジェクト係 宍戸
TEL:03-5424-1121 FAX:03-5424-1126 Eメール: shishido@unesco.or.jp
住所:〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1 朝日生命恵比寿ビル12階

リーフレット制作にあたって

- ・リーフレットコンテストに出品する学校代表リーフレット(2作品以内)は、**画像ファイル(JPEG、BMP等)** または**PDFの形式**でご提出ください。
- ・使用していただくソフトの指定は特にありません。
- ・リーフレットに使用する写真は、日本ユネスコ協会連盟から提供する写真を使用してください。

リーフレットコンテスト

・各参加校の代表リーフレットをインターネット上に公開し、一般投票を行った後、審査員による選考を経て受賞作品3点(下記)を決定します。

・受賞作品・・・A3サイズの「賞状」をお送りします。

1)最優秀賞 「日本ユネスコ協会連盟賞」

2020年度の当連盟「書きそんじハガキ・キャンペーン」の公式リーフレット素案として活用されます。

2)優秀賞 「Dプロジェクト賞」、「教育新聞社賞」

・奨励賞

受賞作品以外の各校代表作品・・・A4サイズの「奨励賞 賞状」をお送りいたします。

日本ユネスコ協会連盟とは

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟は、UNESCO憲章の精神に共鳴した人々によって1947年、世界にさきがけて仙台で始められた民間ユネスコ運動の日本における連合体でNGO(非政府組織)です。現在全国に約280のユネスコ協会があり、さまざまな活動を行っています。日本ユネスコ協会連盟のホームページ：<http://www.unesco.or.jp/>

D-projectとは

D-projectは、「デジタル」「デザイン」の2つのDをキーワードに、ITにふりまわされることなく、子どもたちの学びを見つめて授業をデザインしていこうとする姿を提案したいという願いから、中川一史(放送大学 教授)を会長とし2002年4月に発足しました。

D-projectのホームページ：<http://www.d-project.jp/2014>

<参考> 2018年度リーフレット・コンテスト参加校リスト (19校)

北海道：	海星学院高等学校	大阪府：	箕面市立豊川北小学校
	市立札幌旭丘高等学校		大阪教育大学付属天王寺中学校
東京都：	西町インターナショナルスクール		関西学院千里国際中等部・高等部
	東京都市大学等々力中学校		羽衣学園高等学校
	東京都立三田高等学校	奈良県：	奈良教育大学附属中学校
神奈川県：	神奈川県立有馬高等学校	兵庫県：	兵庫県立武庫荘総合高等学校
	北鎌倉女子学園高等学校	広島県：	廿日市市立宮島中学校
愛知県：	愛知県立津島北高等学校	徳島県：	徳島県立城ノ内中学校・高等学校
三重県：	暁学園暁小学校	福岡県：	福岡県立武蔵台高等学校
		宮崎県：	宮崎県立西都市三財小学校

日本ユネスコ協会連盟賞 受賞作品一覧

2003年度



石川県金沢市立扇台小学校

2004年度



大阪府・羽衣学園高等学校
3年 藤本芳美

2005年度



北海道・石狩市立生振小学校
6年 田面勝行

2006年度



鹿児島県・日置市立土橋小学校
4・5・6年生

2007年度



徳島県立城南高等学校
3年 井村美成子

2008年度



三重県・暁学園暁小学校
6年 太田美帆

2009年度



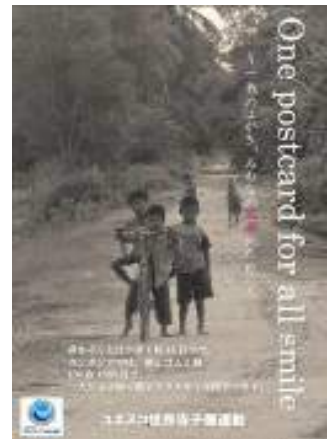
神奈川県・公立国際学園 中部部
2年 出口・酒井

2010年度



大阪市立扇町総合高等学校
3年 坂本・石原・吉竹

2011年度



福岡県立城南高等学校1年
澤野美咲、近藤美鈴

日本ユネスコ協会連盟賞 受賞作品一覧

2012年度



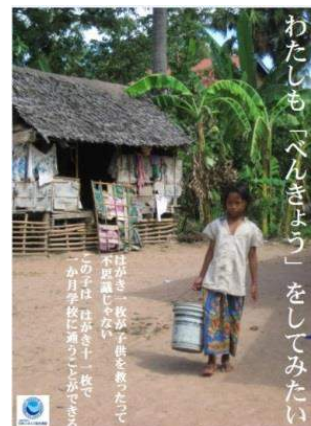
大阪府・羽衣学園高等学校
2年 宮野結衣

2013年度



奈良教育大学附属中学校
1年 南島奈々

2014年度



富山市立蛭川小学校
6年 津田桜香

2015年度



愛知県立津島北高等学校
3年 飯田麻衣

2016年度



北海道札幌平岸高等学校
1年 村本菜摘

2017年度



東京都立三田高等学校
Y・Y

2018年度

神奈川県立有馬高等学校
1年 市川颯太

